

記入要領

評価年月日	総合計画書は、リハビリテーション開始時に用いるものであるが、繰り返し用いることによって治療経過を記録することもできる。																																																						
日常生活自立度	障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準で評価する																																																						
治療経過	現病歴および現在までの治療経過を記載。																																																						
主目標	運動器リハビリテーションを適応した主課題を記載。																																																						
機能状態	運動障害、感覚障害があれば()内にその程度を数字で記入 VASは10cmの線分の左端を「痛みなし」、右端を「これまでに経験した最も激しい痛み」とし、患者に線分上に痛みのレベルに×を記入して貰う。 左端から×まで長さをミリメートル単位で測定																																																						
生活活動の状態	各々の活動の状態について、該当する状態を1から5の数値を記入 被りシャツとはTシャツなどのことで頭から被るように着用する上着 能力的に「できなくて」、「していない」場合は4と記載。 能力的に「できるかどうか不明」で、「していない」場合は5と記載。 能力的には「できる」が、「していない」場合も5と記載。																																																						
機能テスト	高齢者に、機能テストを行う際には転倒骨折の危険性に注意を要する。 3mTUG (簡便法) 丸椅子から立ち上がり、できるだけ速い速度で3m前方まで歩き、方向転換してもどり、椅子に背筋を伸ばした状態で着座できるまでの時間を測定。 2回早いほうの時間を記録する。 開眼片脚起立時間 両足とも1度練習する。その後2回測定し、長いほうの時間を記録する。 両手は腰にあて、片足立ちをする。 片足を挙げた時から、足が床に接地するまでの時間を測定。 軸足が動いた時(すれたとき)はその時点までの時間を測定する。																																																						
装具の使用状態	日常的に使用している装具に×印を記入する																																																						
既往症・併存症	運動療法施行に際し注意を要する疾病を記載。ことに心肺機能、易骨折性																																																						
日常生活活動	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Barthel Index</th> <th>患者が基準を満たせないときには0点とする</th> <th>介助</th> <th>自立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 食事をする(食べ物を刻んであげるとき=介助)</td> <td></td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>2. 車いす・ベッド間の移乗を行う(ベッド上の起きあがりを含む)</td> <td></td> <td>5~10</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>3. 洗面・整容を行う(洗顔、髪の手入れ、髭剃り、歯磨き)</td> <td></td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4. トイレに出入りすること(衣服の着脱、拭く、水を流す)</td> <td></td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>5. 自分で入浴すること</td> <td></td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>6. 平坦地を歩くこと(あるいは歩行不能であれば、車いすを駆動する)</td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td></td> <td>*歩行不能の場合にはこちらの得点</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>7. 階段を昇降すること</td> <td></td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>8. 更衣(靴ひもの結び、ファスナー操作を含む)</td> <td></td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>9. 便禁制</td> <td></td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>10. 尿禁制</td> <td></td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: right;">総点</td> </tr> </tbody> </table>			Barthel Index	患者が基準を満たせないときには0点とする	介助	自立	1. 食事をする(食べ物を刻んであげるとき=介助)		5	10	2. 車いす・ベッド間の移乗を行う(ベッド上の起きあがりを含む)		5~10	15	3. 洗面・整容を行う(洗顔、髪の手入れ、髭剃り、歯磨き)		0	5	4. トイレに出入りすること(衣服の着脱、拭く、水を流す)		5	10	5. 自分で入浴すること		0	5	6. 平坦地を歩くこと(あるいは歩行不能であれば、車いすを駆動する)		10	15		*歩行不能の場合にはこちらの得点	0	5	7. 階段を昇降すること		5	10	8. 更衣(靴ひもの結び、ファスナー操作を含む)		5	10	9. 便禁制		5	10	10. 尿禁制		5	10	総点			
Barthel Index	患者が基準を満たせないときには0点とする	介助	自立																																																				
1. 食事をする(食べ物を刻んであげるとき=介助)		5	10																																																				
2. 車いす・ベッド間の移乗を行う(ベッド上の起きあがりを含む)		5~10	15																																																				
3. 洗面・整容を行う(洗顔、髪の手入れ、髭剃り、歯磨き)		0	5																																																				
4. トイレに出入りすること(衣服の着脱、拭く、水を流す)		5	10																																																				
5. 自分で入浴すること		0	5																																																				
6. 平坦地を歩くこと(あるいは歩行不能であれば、車いすを駆動する)		10	15																																																				
	*歩行不能の場合にはこちらの得点	0	5																																																				
7. 階段を昇降すること		5	10																																																				
8. 更衣(靴ひもの結び、ファスナー操作を含む)		5	10																																																				
9. 便禁制		5	10																																																				
10. 尿禁制		5	10																																																				
総点																																																							
老研式活動能力指標	はいを1点、いいえを0点として合計点を求める																																																						
(1) バスや電車を使って一人で外出できますか	1. はい	2. いいえ																																																					
(2) 日用品の買い物ができますか	1. はい	2. いいえ																																																					
(3) 自分の食事の用意ができますか	1. はい	2. いいえ																																																					
(4) 請求書の支払いができますか	1. はい	2. いいえ																																																					
(5) 銀行預金、郵便貯金の出し入れが自分でできますか	1. はい	2. いいえ																																																					
(6) 年金などの書類が書けますか	1. はい	2. いいえ																																																					
(7) 新聞を読んでいますか	1. はい	2. いいえ																																																					
(8) 本や雑誌を読んでいますか	1. はい	2. いいえ																																																					
(9) 健康について軒時や番組に関心がありますか	1. はい	2. いいえ																																																					
(10) 友だちの家を訪ねることがありますか	1. はい	2. いいえ																																																					
(11) 家族や友だちの相談にのることがありますか	1. はい	2. いいえ																																																					
(12) 病人を見舞うことができますか	1. はい	2. いいえ																																																					
(13) 若い人に自分から話しかけることができますか	1. はい	2. いいえ																																																					
合計(13点満点)																																																							

改善度	運動器リハビリテーション介入後の全般的な改善の度合い。当てはまる番号に。
治療内容	治療部位 重複記入可
	運動療法 重複記入可
	体操療法
	首体操 頸部の可動域訓練、ストレッチなどの一連の体操
	肩こり体操 僧帽筋、肩甲挙筋、菱形筋などのストレッチ および筋力増強訓練
	肩体操 五十肩体操など
	腰体操 体幹を行うストレッチ、腹背筋訓練などの一連の体操
膝体操 膝を行うSLR訓練、ストレッチ、足股などの一連の体操	
バランス体操 ダイナミックフラミンゴ療法、立ち上がり訓練、 平行棒内タンデム歩行などの転倒予防を念頭に置いた一連の体操	
動作訓練 重複記入可	
物理療法 重複記入可	
指導 腰痛に対する姿勢指導、膝関節症に対する減量など	
処方	運動強度 目標心拍数 (200-年齢)に0.6より0.8をかけた心拍数を目安
	ボルグ指数 ボルグ11： 楽である
	ボルグ13： ややきつい